

担い手不足や加入率の低下など、自治会・町内会が抱える課題解決に向けてデジタルツールを活用する団体が増えてきました。特に、回覧板を電子化してデジタルでも情報発信を行う動きが広がっています。

今回は広報のデジタル化に取り組んだ石丸二丁目自治会の事例をご紹介します。

## 紙からデジタルの情報発信へ

### 回覧板、こんなお悩みありませんか？



#### 運営側

- どこまで回っているかわからない
- 回ってしまうまでに時間がかかる
- 印刷や準備に手間がかかる



#### 住民側

- 仕事で家を空けることが多く、なかなか受け取ることができない
- 回ってきた時には、行事の申込締切間際だったり、終了していたりする
- 手元に情報が残らず、日程等がわからない



ホームページ



ブログ

### 回覧板をデジタル化することで・・・

SNS



情報を一斉に配信可能

災害時などの緊急連絡を即時に配信可能

情報がすぐに届く

若い世代も情報を受け取りやすい

現行の回覧板ルート  
の集約・削減が可能



どこでも受け取り・確認ができる

過去の内容を見返すことができる



 **手間や負担感を減らすことができる**

### メリットとデメリットを理解して進めよう

便利な面もある一方で、

- スマートフォンやパソコンを持っていない人は利用できない
- 操作に不慣れな人にとって、情報を受け取るのが難しい
- 住民が見たかどうか確認がしづらい
- 発信するために紙を電子化したり準備をする必要がある

などのデメリットもあります。

しかし、デメリットばかり気にしては、何も変えることはできません。

メリットとデメリットを理解し、地域の状況にあったツールの選択や導入の進め方を検討しましょう。

一気にすべてデジタルに変えようとするのではなく、やれるところ、やれる人から少しずつ始めてみるのが大切です。

石丸二丁目自治会が、令和7年11月に電子回覧板としてLINE公式アカウント、そしてホームページを立ち上げられました。アドバイザー通信Vol.13(2025年8月発行)の「デジタル広報講座レポート」でご紹介したとおり、西区では講座等により検討段階からお手伝いをしてきました。ここからは、石丸二丁目自治会の役員のみなさんへのインタビューをもとに取組みをご紹介します。

## 石丸二丁目自治会のお悩み

これまでの広報手段は…

組ごとに回す  
回覧板



各世帯へ  
チラシ等の配布



しかし…

どうにか  
できないかな…

自治会に加入しない  
人が増えてきた

今の方法だと特に  
若い世代に自治会  
の情報が伝わって  
いない気がする

自治会活動に参加  
していない人にも  
魅力を知ってほしい

行事の案内だけで  
なく、当日の楽しい  
様子も知らせたい

## 広報のデジタル化(電子回覧板導入)までの流れ

7月7日

デジタル広報講座(1回目)

役員7名で受講

ツールや実際の活用事例の紹介を通して、どんな広報をしていきたいかを共有しました。

○回覧板やお知らせをもっと効率的にしていきたい。

○広報の実行委員会を立ち上げて進めていきたい!



デジタルツール導入検討委員会を発足(7人)

メンバー:WEBに強い体育振興会や子ども会の代表者、老人クラブの代表者など幅広い年齢の方で構成

【目標】

12月に開催するもちつき大会の案内をデジタルツールで発信する!

9月~

10月

デジタルツール導入検討委員会で協議



LINE公式アカウントの導入を決定!

11月1日

電子回覧板講座-LINE公式アカウント編-

デジタルツール導入検討委員会他8名で受講

LINE公式アカウントの機能や操作方法について学び、実際にアカウントを開設しました。



石丸二丁目自治会LINE公式アカウントを開設

11月8日

自治会住民へ周知を開始(チラシを配布)

組長も参加する運営委員会(約40名参加)で、LINE公式アカウントの開設をお知らせし、可能な方にはその場で友だち登録をしてもらいました。その後、各組長から全世帯にチラシを配布しました。

デジタルツール導入検討委員会のメンバーが、ホームページを作成しました(無料作成サービスを利用)



LINE公式アカウント本格運用開始  
ホームページを開設

8月18日

デジタル広報講座(2回目)

デジタルツール導入検討委員会5名で受講

改めてツールや活用事例を見ながら、誰を対象にするか、運用するならどのツールがいいかなど、意見交換をおこないました。

○子育て世代は電子の方が届きやすい

○高齢者は紙が見やすいので紙との併用は必要



# LINE公式アカウント

令和8年1月に友だち登録数  
200名を突破!

今後有料プラン  
(月額5,500円)  
へ切替予定



リッチメニュー

## ポイント

- ・イベントのお知らせ、報告
  - ・運営委員会の議事録
  - ・緊急の連絡
- などを一斉送信で配信
- ・リッチメニューを設置し、住民に見てもらいたいことや生活に必要なだと思う情報を集約している

## 【リッチメニューの構成】

- ◆ ホームページ  
→自治会HPトップページへ移動
- ◆ お知らせ  
→自治会HPお知らせページへ移動
- ◆ WEB閲覧  
→自治会HP内議事録ページへ移動
- ◆ 防災マップ  
→総合ハザードマップ(福岡市Webまっぷ内)へ移動
- ◆ ごみ捨て情報  
→自治会HP内ごみ捨て情報ページへ移動

## 役員からひとこと

12月に開催したもちつき大会の案内をLINEで配信しましたが、閲覧板を回すよりも早いタイミングで告知をすることができたのでよかったと思います。

やはり高齢の方からは「情報は紙で欲しい」という声も上がったので、紙と電子の併用で進めることにしました。

私が住むマンションでは、半分の世帯が友だち登録してくれました。世帯が多いマンションなので、今までは同じ内容の閲覧板を2セット作って回していました。今回LINEを登録し「LINEでいい」という世帯もあり、今後は紙の閲覧板は1セットだけにしようと話が進んでいます。

## LINE登録用チラシを全世帯に配布



## ホームページ



石丸二丁目自治会 ホームページ(PC表示)

## 【HPにはこんな情報が載っています】

- ◆ 石丸二丁目自治会について  
→沿革、年間行事、組織、各種団体の紹介
- ◆ 入会方法(フォーム)
- ◆ お知らせ  
→イベントの情報や報告、カレンダー
- ◆ 運営委員会議事録  
→議事録データを掲載
- ◆ ゴミ捨て情報
- ◆ 問い合わせフォーム



↑石丸二丁目自治会  
ホームページはこちら

## 役員からひとこと

引越しを検討している人たちは、引越し先の地域についてインターネットで調べることも多いです。そういう人たちに向けても、ホームページを充実させることは必要だと思っています。

## インタビュー

### Q. 運営体制はどうなっていますか？

LINE公式アカウントでの配信は、WEB関係に強い方がいて、その方に専任でお願いしています。

- ①担当者が記事を作成
- ②役員のグループLINEで共有
- ③役員みんなで内容を確認
- ④OKならば配信

という流れにしている、今のところきちんと運用できています。

また、ホームページも同じ方が作成し、更新も担当してくれています。WEB関係に強いというお話は聞いていたので、検討委員会のメンバーに入ってもらいました。日ごろから顔が見える関係の方だったので、声を掛けやすかったです。WEBが得意な方に運営に参加してもらえたのは、デジタル化を進めるうえでとても大きな力になりました。

## Q. 費用について教えてください。

- ◎うちの自治会は世帯数が多いので(約1,150世帯)、LINE公式アカウントの友だち登録数が200人を超えたところで有料のライトプラン(月額5,500円)に変更して運用していきます。そのために予算も確保しました。今後のことを考えて、デジタルでの情報発信にはお金をかけることが必要だろうと判断しました。

## Q. デジタルツール導入検討委員会を発足して進めてこられました。よかったところはありますか。

- ◎12月に開催するもちつきの情報を発信したいというところから始まり、それに向けてどういう手順や準備が必要かを逆算して取り組んできました。検討委員会を立ち上げて、各団体の方の声を聞きながら進めることができたのはとても良かったと思います。やはり役員だけで決めると「勝手に導入を進めた」と住民に思われてしまう可能性もあります。
- ◎デジタルツール導入検討委員会は「石丸二丁目デジタル委員会」と名称を変えて継続します。委員会があると、今後デジタルを使った情報発信を進めていくなかで課題が出た時などに、対応を検討しやすいと思っています。

## Q. 今後の展開について教えてください。

- ◎LINE公式アカウントの友だち登録者が200人を超えましたが、登録者がここで打ち止めにならないようにしたいです。紙の回覧板や配布物に登録用の二次元コードを常に掲載して、いつでも登録してもらえますようにします。
- ◎各組長は毎年変わるので、その人たちが登録してくれたらLINEを見る人がその分増えます。そうやって情報が届く範囲を広げていきます。
- ◎情報発信をする目的の一つは、町内会へ加入してもらうことです。新しく引越してきた方や、あまり町内会に関わっていない方にどのように情報を届けるかがポイントになります。

ホームページは自治会について知ってもらうための重要なツール。そのためにも、掲載する情報やお知らせの内容などを今後きちんと整理していきたいと思っています。



石丸二丁目自治会  
ロゴマーク



## アドバイザーから一言

石丸二丁目自治会の取組みのポイントをご紹介します。

ここが  
GOOD!

## ①デジタルツール導入検討委員会の立ち上げ

- ・WEBに強い人をメンバーに入れた
- ・幅広い世代の意見を聞いて進めた

## ②運用開始の目標設定

- ・12月のもちつきまでにスタートと決めた

## ③広報費用を予算化

- ・自治会の広報費用を予算化した

「事前の検討」、「体制づくり」、「予算」はデジタル化を進める上で重要なポイントです!

地域広報アドバイザー通信のバックナンバーを、西区のHPに掲載しています。

広報のポイントやデジタルツールの紹介など地域の広報に役立つ情報をまとめています。ぜひご覧ください。



↑地域広報アドバイザー通信はこちら(西区HP内)



石丸二丁目自治会のように、広報のデジタル化を検討されているみなさま、区主催の「デジタル広報講座」を利用しませんか!

自治会・町内会が広報のデジタル化に取り組む場合、LINE公式アカウントの月額利用料やホームページ作成費等は「町内会活動支援事業補助金」の対象となるなど、費用のサポートもあります。

どうぞお気軽に、地域支援課にご相談ください。



↑町内会活動支援事業補助金についてはこちら(西区HP内)



↑デジタル広報講座についてはこちら(西区HP内)

## 【連絡先】

福岡市西区 地域支援課(西区役所3階 55番窓口)  
地域広報アドバイザー 藤野ゆかり  
電話 : 092-895-7036  
メール : fujino.y10@city.fukuoka.lg.jp